

くしまっ子

交通安全子供自転車県大会V4

北方小学校の児童たちが自転車の安全な乗り方の技術と知識を競う「交通安全子供自転車県大会」団体の部で4連覇を達成し、8月に東京都で開催される全国大会への切符を手に入れました。

希望者を募って作られたチームは松田暖々さん、松田寧々さん、瀬尾彩花さん、松下竜樹くんの6年生4人。前校長の牧野修さんと交通安全指導員が指導に当たります。



全国大会を控え、みっちり練習に打ち込む4人

目指すは全国大会10位以上!

「頑張るぞ!」



04. 北方小学校 交通安全子供自転車大会出場メンバー

左から
松田 暖々さん
瀬尾 彩花さん
松下 竜樹くん
松田 寧々さん

北方小学校 6年生。暖々さんと寧々さんは双子の姉妹。

昨年の10月から週3回1時間ほど、ジグザグ走行や10メートルを25秒かけて走行する遅乗りなどの走行練習に加えて、交通ルールの学科試験の勉強もこなすなど、頭も体もフル稼働で訓練を続けてきました。

「緊張して100%の力が出せなかった」とメンバーは県大会を振り返りますが、抜群の成績で団体の部で優勝したほか、個人の部でも上位を独占しました。

瀬尾さん以外の3人は、昨年も全国大会に出場しており、今年が2回目の出場。全国大会での活躍に昨年以上の期待がかかります。

全国大会でリーダーを務める松田暖々さんは「宮崎県の代表として、最後まで集中して上位を目指して頑張りたい」と話します。昨年の全国大会の成績は26位。今年練習で高めてきたチームワークで過去最高の10位以上を目指します。

地域おこし協力隊

活動日記

vol.4

高松海水浴場ににぎわいを

せこ なおゆき
世古 直之さん



8月で串間市に来てちょうど1年が経ちます。地名を覚えることから始まり、子どもが生まれ、生活習慣を作っていくことなど、あっという間に時間が過ぎていきました。

担当する6次化の推進業務で、高松地区の元気な母ちゃん達が立ち上がりました!高松地区で獲れる農産物や水産物を使用した加工場を運営しています。

この地元で獲れたものを地元で食べることは一見、シンプルなことですが、大手チェーン店が増え、情報化によって消費者の足が外に向かっている最中、とても大事なことだと思います(地産地消、バイロカル)。

一年を通して魚種が変わり、串間市に來なければ食べれない「浜っこ定食」は、いろんな想いが詰まっています。海が目の前にあり、ロケーションもプラス、母ちゃん達と話すことでまたプラスです。

この小さな海水浴場を良い形で盛り上げていたけたらと思います。



地域づくりのサポーター 集落支援員

「自分たちの地域は、自分たちで守る」を合言葉に

全国的に少子高齢化や価値観の多様化が進み、集落機能が低下するなどの問題が発生しています。こういった状況に対応するため、串間市では「地域のことは地域で解決できる社会づくり」を目指す中で、「集落支援員」を配置し、集落の実情に応じた維持、活性化に向けた取り組みをスタートしています。その集落支援員として、集落の活性化に市役所や住民と一体となつて活動しているのが奥村善朗さんです。「地域のために何かの役に立ちたい」という思いから応募し、平成28年8月に就任しました。

奥村さんは約30年に渡り、JAはまゆうの営農指導員として地域農業の活性化に尽力し、平成27年には市の「くしまdeスローライフサポートマネージャー」として、人口増に向けた移住推進、集落づくりなどに取り組んできました。

これらの経験を生かし、昨年8月からは集落支援員として活動。約1年をかけて集落を巡回し、地域の現状に目を配ることで、地域内で発生している課題を掘り起こし、自治会長や住民と解決に向けた話し合いを行ってきました。

「地域に行つて話さないと見えてこない課題はたくさんある」。積極的に地域を巡回することで、空き家の増加や農地の荒廃、後継者不

足など、さまざまな問題が見えてきました。中でも奥村さんが感じた一番の課題は「統合されて中学校がなくなった地域をどう活性化していくか」ということ。学校がなければ中学校のある市街地や市外に出ていく人が増えたり、これまで中学校を中心に行っていた地域行事も難しくなるかもしれません。そうなることで地域の過疎化が一気に進むことを危惧しています。

「これらの課題を解決していくには、地域は地域が守る仕組み『地域連携組織』の設立が大事だと思うが、一番の解決策は住民が地元を愛する心を持つかどうか」だと奥村さんは話します。

ある地域では、住民の地域に対する誇りや愛着はあるものの「もう何もなくなっていく」というあきらめ感や無関心さを感じるところもあるといいます。住民自ら課題解決に立ち上がることをしないままでは、ますます地域が弱ってしまいます。



おくむら よしろう
奥村 善朗さん
(福島地区・木代)

55歳までJAはまゆう勤務。2015年には市のくしまdeスローライフサポートマネージャーとして集落づくりなどに取り組む。現在68歳。



住民との対話で地域の課題を探ります

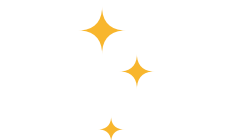


支所長からの情報収集も積極的に行います

串間のあんな人こんな人

People

ピープル



串間で活躍する人を
紹介します

きらめき図鑑

kirameki